

MEIJI
GAKUIN
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2017年10月30日

日本初開催！ 2日目は明治学院大学で 「しあわせの経済」世界フォーラム 2017 in 東京 13か国30名のリーダーが集う 11月11日(土)・12日(日)

グローバル経済によって引き起こされた危機が深まる中、世界各地で「しあわせの経済」と「ローカリゼーション」を目指す流れが着実に広がり、世界的な潮流となってきています。「しあわせの経済」世界フォーラム 2017では、国際的な議論と実践を紹介し、日本で、また世界で実践されている「ローカル経済」のモデルを発信します。

1日目(前売3,000円)は、日本教育会館・一ツ橋ホール(千代田区)でゲスト講師による講演やスピーチで世界の事例発表を行い、2日目(無料)は明治学院大学で、辻信一教授(明治学院大学国際学部)や明治学院大学の学生ボランティアチームも参加して、11を超えるテーマ別のトークセッションや分科会を開催します。日本の実践者との対話や意見交換、地域の特産品が買えるマルシェ、音楽などのパフォーマンスが会場を盛り上げます。

2-3枚目をご覧ください、ぜひ本フォーラムの告知と取材をご検討いただきたく、何卒よろしくお願いいたします。

「しあわせの経済」世界フォーラム 2017

【第1日目】 11月11日(土) 10:30~19:00 (開場 10:00)

会場：日本教育会館3F・一ツ橋ホール

入場料：前売一般3000円、学生1500円、当日一般4000円、学生2000円 ※同時通訳あり

内容：オープニング：僧侶たちによる平和への祈り

基調講演1：ヘレナさんの「しあわせの経済学」(仮)

ヘレナ・ノーバーク＝ホッジ (ローカル・フューチャーズ代表)

基調講演2：サティシュさんに学ぶ「ローカル・イズ・ビューティフル」(仮)

サティシュ・クマール (平和のための巡礼者) その他、アジアからの報告等

【第2日目】 11月12日(日) 分科会・ワークショップ 9:30~17:30 (開場 9:00)

ブース・マルシェ 10:00~16:30 (開場 9:30)

会場：明治学院大学白金キャンパス・パレットゾーン他

入場料：無料

内容：ローカリゼーション映画祭、内外のローカリゼーションに関するブースやマルシェ、

分科会1 10:30~12:00 「雑×ローカル×しあわせ」(明治学院大学国際学部附属研究所) 等

分科会2 13:15~14:45 地域経済を取り戻す(幸せ経済社会研究所、コモンズ) 等

分科会3 15:00~16:30 森林農法に学ぶローカリゼーション((株)ウインドファーム) 等

■主催：ローカル・フューチャーズ、「しあわせの経済」世界フォーラム 2017 実行委員会 ■共催：明治学院大学

■内容・全体の取材に関するお問合せ：実行委員会事務局・ナマケモノ倶楽部・馬場直子

Tel 090-1795-0341 E-Mail babi@sloth.gr.jp <http://economics-of-happiness-japan.org/>

明治学院大学での取材のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当：園道、濱口

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>

2017年10月11日配信>>ぜひ事前告知記事および当日のゲスト取材をお願いします！

Local is Beautiful～「しあわせの経済」世界フォーラム 2017 in 東京

日本初開催！ 11/11（土）、12（日） 13 か国 30 名のリーダーが集い 「しあわせの経済」への道筋探る



気候変動や経済危機、富の格差、心の病の増加など、世界共通の課題解決に向け、地域のコミュニティや生態系を基盤とした「ローカル経済」の役割を議論する「しあわせの経済」世界フォーラム 2017 in 東京が 11 月 11 日（土）、12 日（日）、都内で開催される。

同世界フォーラムは、インド、ラダック地方での暮らしから、現代社会に「豊かさ」を問い直し、世界 40 か国に翻訳されている『懐かしい未来』著者、ヘレナ・ノーバーク=ホッジ氏(71)が、2009 年よりアメリカ、イタリア、インドなど各国で開催してきたもの。日本では初の開催となる。

主催は、ヘレナ氏が代表を務めるローカル・フューチャー（イギリス）と、日本の環境・社会運動や国際協力に取り組む市民団体、北海道から福岡までの地域で活動するグループ、パルシステム生活協同組合連合会、アウトドアメーカーのパタゴニア、城南信用金庫などの企業、明治学院大学や日本大学のゼミなど、50 を超える団体で構成される実行委員会。事務局は、スローライフを日本に提唱した文化人類学者の辻信一氏が世話人を務める環境NGO・ナマケモノ倶楽部（東京）。

2日間にわたるフォーラムでは、「グローバルからローカルへ」という視点を、1日目（前売 3000 円）は世界の事例発表に学び、2日目（入場無料）は 12 を超えるテーマ別分科会を中心に、日本の実践者との対話や意見交換のほか、ブースやマルシェが予定されている。

ヘレナ・ノーバーク=ホッジ

「私たちが今必要としているのは、人間と自然界の真のニーズに応えるための、ローカリゼーションへの方向転換です。すでに世界中で、数えきれないほどのワクワクするような素晴らしいローカル化プロジェクトが進行中なのです」

辻信一

「ローカリゼーションとは孤立ではありません。ローカル化をめざす世界中の地域がつながって、連帯する。それこそが『大企業のためのグローバル化』に歯止めをかけ、それを乗り越える、本来の意味のグローバル化です」

<「しあわせの経済」世界フォーラムの特徴>

<http://economics-of-happiness-japan.org/>



① 学生たちがボランティアチームで参加

明治学院大学学生たちは「しあわせの経済学部」という学生ボランティアチームを立ち上げ、同世代へのフォーラム参加を呼び掛けている。同大学国際学部1年生、野中アレックスくん(20)は、「ボランティアを通じて、しあわせとは何か、今の時代をどのように生きていくのか、学生として自分たちで考え直していきたい。」と話す。

② 現自治体首長から地域リーダーまで、多様なスピーカーたち

登壇者には、2015 年度グリーン・キャピタル・シティを受賞したイギリス元ブリストル市長のジョージ・ファーガソン氏(70)、韓国一若い首長として食文化を重視した町づくりに取り組む韓国・全州市長の金承洙(キム・スンズ)氏、GNP に代わる指標として「GNH(国民総幸福)」を掲げ、国策として取り組むブータンからネテン・ザンモ氏(56)、メキシコ・プエブラ州で、持続可能な森林農業をはじめ、教育や福祉にも取り組むトセパン協同組合のレオナルド・ドウラン氏など。基調講演にはヘレナ・ノーバーク=ホッジ氏と思想家、サティシュ・クマール氏。

日本からの視点として、京都大学こころの未来研究センター教授の広井良典氏、法政大学総長の田中優子氏、城南信用金庫の吉原毅顧問、コミュニティデザイナーの山崎亮氏などが発言する。

③ 日本でも多様な地域、運動体、企業が「ローカル経済」に注目

北海道でスローフードに取り組む市民団体、岐阜県石徹白から住民全戸出資の小水力発電事業に取り組む平野彰秀氏、三重県鈴鹿で持続可能なコミュニティづくりにとりくむ市民団体、南米とコーヒーのフェアトレードに先駆的に取り組んできた会社など、全国 57 の団体が協働して企画運営に取り組む。

④ イラク、そして福島からのメッセージ発信も

フォーラムのメインビジュアルにはイラク人アーティスト、ハーニー・ダッラ・アリー氏の作品を採用。「帰りたいけど祖国に帰れない」現実に心を寄せる。また、東日本大震災で自主避難を余儀なくされ「帰りたい。けれど帰れない」苦悩を抱える女性シンガーYUKARI も1日目にパフォーマンスで登場。自作の詩でローカルへの思いを訴える。



<開催概要> 日時:2017年11月11日(土)10:30-19:00 日本教育会館・一ツ橋ホール(千代田区)
前売 3000 円、当日 4000 円(同時通訳あり)

11月12日(日)09:30-17:30 明治学院大学白金キャンパス(港区)入場無料

主催: [ローカル・フューチャーズ](#)、「しあわせの経済」世界フォーラム 2017 実行委員会

共催: [明治学院大学](#)、[明治学院大学国際学部附属研究所](#)

協賛: [株式会社ウインドファーム](#)、[城南信用金庫](#)、[株式会社素敬](#) [ゆっこり小学校](#)、

[パタゴニア日本支社](#)、[パルシステム生活協同組合連合会](#)、[株式会社パルシステム・リレーションズ](#)

協力: [株式会社良品計画](#)

本件に関するお問合せ: 実行員会事務局・ナマケモノ倶楽部・馬場直子

090-1795-0341 babi@sloth.gr.jp